

ダイナスフィア

ダイナスフィアは、デール・ポンドと彼のメンバー達が製作した装置です。ジョン・ウォレル・キーリー(1837-1898)が開発したグローブ・モーターの影響を受け、ドーン・ストレンジズの透視をもとに作られました。キーリーの原型グローブ・モーターは、回転運動によってエネルギーを発生させるモーターでしたが、それはキーリー本人にしか動かすことができませんでした。人智学運動を展開したルドルフ・シュタイナーや神智学運動のヘレナ・ブラヴァツキーは、モーターが確かに作動したと明言しています。しかし、新しい形態であるこのエネルギーが定着するには、時はまだ満ちていませんでした。

ダイナスフィアは、スピリチュアルな意味で生きていると言えます。なぜなら、その存在は私たちに愛と平和を創造するひらめきを与えてくれるからです。人間の内から発する力、それは無償の愛の状態から生まれるものです。願わくば、その力によって、将来ダイナスフィアの作動が実現しますように。

ダイナスフィアと霊性

「米国フィラデルフィア州のキーリー氏は、昔も、そして今なお、宇宙の大いなる秘教の入り口に立っている。」(ヘレナ・ブラヴァツキー(1974)『シークレット・ドクトリン(秘密教義)第1巻』神智学大学出版局(1888年初版), Secret Doctrine Vol. 1, p.556)

「キーリーは、自分の有機体が発する霊気によって彼のエンジンを作動させた。その霊気とは、我々一人ひとりの徳性によるものである。これこそが、未来における技術革新の幕開けの契機となるであろう。」(ルドルフ・シュタイナー(2000)『クリスチャン・ミステリー』コンプリーション出版(1906年講義録), The Christian Mystery, pp.29-30)

「…無償の愛の力によってのみ動かすことが可能な駆動力。この動力を利用して機械を運転することが可能となるであろう…」(ルドルフ・シュタ

イナー(1985)『テンプル・レジェンド(神殿伝説)』ルドルフ・シュタイナー出版(1906年講義録), The Temple Legend, p.312)

デール・ポンドは、自らが製作した最初のダイナスフィアについて次のように述べています。

「アトリンが放射した温かな熱は、エーテル状のエネルギーフィールドに敏感な人々によって感知された。このエーテル体は、何百もの人々により、愛・温かさ・平安・喜びといった言葉で形容された。」(デール・ポンド(2001)『アトリン・ノウイング・アイ・アム』デルタ・スペクトラム・リサーチ, Atlin - Knowing I AM, p.6)



日本ダイナスフィア計画

ダイナスフィアを日本に設置しようという共同プロジェクトが進められております。ダイナスフィアは、母なる地球のバランスを整え、私たちのスピリチュアルな成長を促してくれます。皆様におかれましては、平和的で愛に満ちた思いを送っていただくことで、日本ダイナスフィア計画を支援していただくことが可能です。また、こちらのサイトから寄付金も承っております。

<http://www.svpwiki.com/dynaspheres>

日本のダイナスフィアは、OFFICE MASARU EMOTO (江本勝オフィス;東京)に設置される予定です。

<http://www.masaru-emoto.net>